

## ◆ ハンズオンセッション ◆

※ 参加申し込みは、各自、代表者宛にメールをお送りください。

※ 当日は、ご自身の PC をお持ちください。

### ハンズオンセッション(1)【QGIS&R ハンズオン】

日 時 : 11月7日(金) 12:40~14:20

場 所 : 2222 教室 (22 号館 2 階) ← 変更になりました

申込先 : 縫村 崇行 (千葉科学大学) [tnuimura@cis.ac.jp](mailto:tnuimura@cis.ac.jp)

事前準備:

QGIS 2.4 および R 3.1 をインストールした PC をお持ち下さい。可能であれば Windows を用意していただくと助かります。それ以外の OS の方は QGIS と R 連携の初期設定に関して事前にサポートさせていただきますので縫村までご連絡下さい。

ハンズオン概要:

オープンソース GIS ソフトウェアの QGIS と統計解析言語の R を用いた空間解析についてのハンズオンです。QGIS では、様々な外部プログラムとの連携が可能となるプロセッシングという機能が実装されており、統計解析に強い R 言語などを呼び出して様々な空間統計解析や可視化が用意に可能となります。こちらのハンズオンでは GIS の基礎知識があり QGIS の利用経験がある方を対象として QGIS での R 言語の機能呼び出しについて紹介します。R 言語に関しては多少の使用経験があるのが望ましいですが、初心者でも構いません。

### ハンズオンセッション(2)【クラウド GIS を利用した基礎的な GIS 教育教材の作成と共有】

日 時 : 11月7日(金) 16:20~18:00

場 所 : 222A 教室 (22 号館 2 階)

申 込 先: 土田 雅代 (ESRI ジャパン株式会社) [masayo\\_tsuchida@esri.com](mailto:masayo_tsuchida@esri.com)

ESRI ジャパンは、大学や高専の教員とともに GIS による主題図作成をテーマとする教材の作成を進めてきた。この教材は、主題図作成という GIS 教育においては基礎的な内容からなり、その対象には地理学や都市工学などだけではなく、GIS を専門としないような大学生や一般の社会人も含んでいる。また、大学教育および企業向け研修でも利用できるような内容を目指している。この教材の特色は、利用者（教育・研修の担当者）が、この教材の全部または一部を自由に抜き出し、編集したうえで、自身の用途に沿った教材が作成できるようになっている点にある。本セッションでは、本教材のねらいや基本的な特徴および利用方法を紹介するとともに、クラウド GIS である ArcGIS Online を利用した、各自の用途に適した教材作成や作成した教材の共有方法などについて、要点を紹介する。そのうえで、参加者にも実際に教材を作成してもらいながら、教材の活用方法や改善すべき点などについて議論を深める。

### ハンズオンセッション(3)【第3回マイクロジオデータ研究会

#### 「Mobmapによる人流データ解析入門」に関するご案内】

日時：11月8日(土) 10:50~12:30

場所：223A 実習室 (22号館3階)

申込先：<http://goo.gl/7kT5Uo> (定員20名)

主催：マイクロジオデータ研究会 <http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/>

共催：東京大学空間情報科学研究センター、合同会社マイクロベース

この講習会では Mobmap と呼ばれる GIS ソフトを活用して、人流データの可視化・解析を行います。Mobmap は Google Chrome アプリとして開発された、時系列データの可視化・分析が可能な次世代の時空間 GIS です。受講者にはご自身の PC に実際に Mobmap をインストールしその操作を体験して頂くとともに、人流データを可視化し、更にポリゴンデータと組み合わせた分析なども体験して頂く予定です。時系列データや人流データ、ビックデータに興味がある方、新時代の GIS に興味のある方は是非ご参加下さい。

### ハンズオンセッション(4)【SfMによる簡単三次元モデリング】

日時：11月8日(土) 13:40~15:40

場所：223A 実習室 (22号館3階)

申込先：内山 庄一郎 (防災科学技術研究所) [uchiyama@bosai.go.jp](mailto:uchiyama@bosai.go.jp)

SfM (Structure from Motion) とは複数の写真から被写体の立体形状を復元する技術です。操作が容易な GUI を持つ安価なソフトウェアが市場に出たことにより、専門家でなくてもこの技術を利用できるようになりました。ハンズオンでは、普通のデジカメやスマートフォンで地形模型を撮影し、地上基準点を与えて立体地形モデルを出力するまでの一連の作業を行います。デジカメを UAV に乗せて調査地の詳細地形図を得たり、空中写真から過去のオルソ画像を作成したり、その応用は無限大です。地形データを自分で作る時代の到来です。ぜひ、ご参加ください。

## ◆ 特別セッション ◆

※ 当セッションのみの参加は、無料です。

### 特別セッション(1)【学校における地理教育の見通しと GIS】

日時：11月7日(金) 12:40~14:20

場所：会場 B 2211 教室 (22号館1階)

主催：地理情報システム学会

共催：毎日新聞社

後援：国土交通省国土政策局、人文地理学会、日本地図センター、  
日本地図学会、日本地理学会

副賞提供： 日本地図センター

協 賛： ESRI ジャパン株式会社

オーガナイザー： 酒井 高正

【第1部】「2014年度初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例」表彰式：本学会が主催し教育委員会の責任において審査を行う上記の表彰事業について、「国土交通大臣賞」、「毎日新聞社賞」の受賞者を招き、表彰式を執り行う。

【第2部】優良事例の発表会：GISを活用した授業を実践している事例について上記の各賞を受賞された方々から、その内容をご紹介いただき、他の学校での実践の可能性等について探る。

【第3部】中・高等学校などにおける地理教育の見通しとGIS活用に関する小シンポジウム：高等学校における地理教育の見通しが厳しい現在において、地理教育の重要性をGISを軸に考えるミニシンポジウムを行う。報告者（敬称略）は受賞者の森泰三（岡山県立備前緑陽高等学校）、北岡武（坂井市役所）、Mike Gould（米国ESRI）、碓井照子（奈良大学名誉教授）らを予定している。

#### 特別セッション(2)【オープンなGISはどこまで可能か？—Daniel Sui教授を迎えて—】

日 時： 11月7日（金）14：30～16：10

場 所： 会場B 2211教室（22号館1階）

オーガナイザー： 瀬戸 寿一

2010年代以降のGIS研究は、FOSS4Gに代表されるオープンソースGISに加え、オープンガバメントに基づくデータ共有やオープンサイエンス文化の浸透など、多様なオープンに呼応する側面が見え始めている。このような動向は地理情報システム・サイエンスとしてのイノベーションを加速するのみならず、データ流通や標準化をめぐる社会・政治・法制度、さらにはGIS教育の機会拡大などにも大きく影響を及ぼしつつある。本セッションは、オープンなGISに関する論文や著作を発表されているオハイオ州立大学のDaniel Sui教授をお招きし、世界的動向と日本の状況を交えながら、オープンなGISをめぐる課題と展望について議論する。

#### 特別セッション(3)【自治体GISを考える～ワークショップ&ディスカッション】

日 時： 11月7日（金）16：20～18：00

場 所： 会場B 2211教室（22号館1階）

オーガナイザー： 浅野 和仁

自治体GISの取り組みが始まって20年を経過した。それぞれの時代において様々な課題を乗り越え、今では多くの自治体がGISを行政事務に取り込み活用している。しかし、基盤地図情報の更新や、コンテンツやアプリの標準化、人事異動による運用体制の弱体化など検討すべき課題はたくさんある。前半のワークショップでは、自治体GISにおける基盤データ系、コンテンツ系、運用系に班編成したチーム毎に課題を抽出整理し、それらがどのように自治体現場に影響を及ぼしているのかを討論する。後半のパネルディスカッショ

ンでは、各グループの代表者（パネラー）から討論の報告を受け、最初に基盤データ系について、中盤はコンテンツ系について、終盤は運用系について、意見交流を行い、最後に今後の自治体 GIS の方向性を示唆するまとめを行う。なお当セッションの議論内容等は後日文書化し、学会サイト等を通じて多くの自治体関係者に提供する予定。

#### **特別セッション(4) 【GISCA 特別セッション】**

**日 時** : 11月8日(土) 9:00~12:30

**場 所** : 会場 A 2215 教室 (22 号館 1 階)

オーガナイザー : 大伴 真吾

GIS 事業分野の担い手として、GIS 上級技術者 (GISE) 資格が注目されつつあるが、当分野の更なる発展を期すためには、個々の経験に基づく知見や新たに開発した技術を共有し、議論する場が欠かせない。また、GISE 資格の有効期限は 5 年間であり、その間に、GIS 分野に対して一定の貢献をすることが義務付けられている。このような背景のもと、本セッションは、資格をもつ発表者には貢献の機会を与え、参加者には教育の機会を与えることを通じて、相互研鑽することを目的に、開催するものである。また、GISE 資格の取得を目指す人々や興味をもつ人々の参加も歓迎したい。

#### **特別セッション(5) 【適切な国土・環境計画のための地理空間情報を活用した**

**地域特性区分のあり方】**

**日 時** : 11月8日(土) 9:00~10:40

**場 所** : 会場 B 2211 教室 (22 号館 1 階)

オーガナイザー : 小荒井 衛

第 22 回地理情報システム学会の企画セッション「レジリエントな国土・地域社会の構築のための地理空間情報の活用」(Web で開催)において、地理空間情報を活用した地域特性区分の重要性を主張した。今回の企画セッションでは、前回の企画セッションの内容を受けて、具体的な地域事例を取り上げることで、災害特性による地域区分と景観特性による地域区分との統合を目指し、企画者らが提案する地域特性区分方法や区分案の是非について、関係有識者を交えた意見交換を行う。

#### **特別セッション(6) 【災害対応における GIS の利活用の新たな可能性を探る】**

**日 時** : 11月8日(土) 10:50~12:30

**場 所** : 会場 B 2211 教室 (22 号館 1 階)

オーガナイザー : 畑山 満則

防災 GIS 分科会では、これまでに災害時の GIS を用いた支援活動を展開してきた。被災地で活動すると GIS を利用すれば効果的と思われる場面に多々出くわすが、その時点では支援活動を行う人材を集めることが難しく、この点について様々な議論がなされてきた。また、2014 年 3 月には、内閣府で災害対策標準化検討会議報告書

<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/kentokaigi/index.html>

がまとめられ、G 空間情報や GIS への期待がさらに高まりを見せている。その一方で、近年では、フリーソフト、オープンデータが整備されつつありこれによりインターネット上での支援活動も積極的に行われるようになってきた。そこで、本企画セッションでは、災害対応に GIS を利用するための課題について、最新事例をもとに議論することで、新たな災害対応支援の可能性について探る。

### 特別セッション(7)【第7回マイクロジオデータ研究会

「クラウドソーシングで実現する新しいマイクロジオデータ」】

日 時 : 11月8日(土) 13:40~15:40

場 所 : 会場 A 2215 教室 (22 号館 1 階)

主催 : マイクロジオデータ研究会

共催 : 東京大学空間情報科学研究センター, 合同会社マイクロベース

<参加登録のお願い>

当日配布を予定している資料の作成部数や会場設営の都合上、事前に大まかな参加者数を把握したいと考えています。ご参加頂ける方は以下から参加登録をお願い致します。

[goo.gl/CxCTbT](http://goo.gl/CxCTbT)

なお事前のご登録無しでもご参加頂けます。また学会内での特別セッションという性質上、事前にご登録頂いた方でも当日席をご用意出来ない場合がございます。ご了承下さい。

オーガナイザー : 秋山 祐樹

毎年恒例となりましたマイクロジオデータに関する特別セッションを開催いたします。

今年は「クラウドソーシング」がテーマです。これまでのクラウドソーシングによる MGD 整備や、新しい MGD 実現への取り組み、またその課題についての講演と、有識者らによるパネルディスカッションが予定されています。皆様には本セッションにご参加頂けるよう是非ご検討頂ければと思います。

<プログラム> ※講演者・講演タイトルは当日までに変更される場合がございます。

13:40~13:45 「マイクロジオデータ研究会の紹介とマイクロジオデータ普及に向けた活動」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任助教 秋山祐樹

13:45~14:00 「"Pstay" ~クラウドソーシングを活用した店舗等の滞在者数データ開発の試み~」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任助教 秋山祐樹

14:00~14:15 「スマートフォンのコンテキストを利用した能動型マイクロタスキング」

東京大学空間情報科学研究センター 准教授 木實新一

14:15~14:30 「クラウドソーシングで広がるオープンストリートマップ」

オープンストリートマップ・ファウンデーション・ジャパン 久保田 優子

14:30~14:45 「実世界情報活用のためのクラウドソーシング技術の時空間拡張」

日本電信電話株式会社 NTT サービスエボリューション研究所 羽田野真由美

14:45~15:00 「"minpoi" クラウドソーシングを活用した現地確認サービス」

SCSK 株式会社 東田圭介・櫻木伸幸

15:00~15:40 公開ディスカッション・質疑等

・コーディネーター 東京大学空間情報科学研究センター 教授 柴崎亮介 (予定)

・パネラー (当日までに追加・変更がある場合がございます。)

東京大学空間情報科学研究センター 准教授 木實新一

オープンストリートマップ・ファウンデーション・ジャパン 久保田 優子

日本電信電話株式会社 NTT サービスエボリューション研究所 羽田野真由美

SCSK 株式会社 東田圭介・櫻木伸幸

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任助教 秋山祐樹

次回の研究会のご案内